

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/12/09号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



戻り売り優勢、OPECプラスは減産縮小を延期も

NY原油先物相場は、1バレル=70ドルの節目水準で抵抗を受け、67ドル前半まで軟化する展開になった。12月5日に石油輸出国機構（OPEC）プラスは減産縮小の再延期を決めたが、原油相場に対する影響は限定的だった。改めて需給緩和見通しを織り込む動きが優勢になり、11月18日以来の安値を更新した。中東情勢は依然として不安定だが、原油相場に対する影響は軽微だった。

OPECプラスは12月5日に合同閣僚監視委員会（JMMC）を開催し、減産縮小計画に着手する時期を来年4月まで先送りすることで合意した。想定以上に厳しい需要環境・見通しとあって、まだ減産縮小に着手できる環境にはないと判断した模様だ。来年4月から2026年にかけて時間をかけて減産縮小を進める計画が改めて発表されているが、マーケットへの影響は限定的だった。そもそも、マーケットではOPECプラスが減産縮小に着手できる環境にはないとの見方が優勢だったことに加えて、減産縮小の延期でも来年1～3月期の供給超過は避けられないとの厳しい見方が優勢になっている影響だ。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（11月29日時点）は、原油が前週比507万バレル減、ガソリン236万バレル増、石油精製品が338万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

需給緩和見通しの織り込み続く、OPECとIEA月報に注目

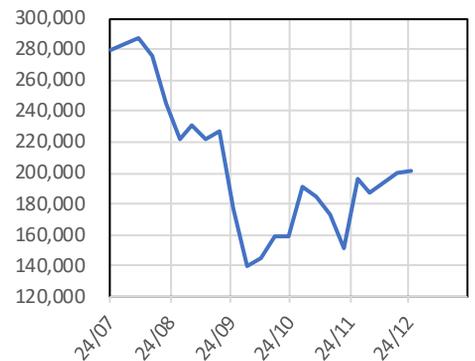
需給緩和見通しを背景に上値の重い展開が続く見通し。徐々に上値は切り下がっており、9月10日に付けた年初来安値65.27ドルを試す可能性もあろう。石油輸出国機構（OPEC）の減産縮小を延期する決定も無難に消化し、上値の重さを再確認している。

今週は11日にOPEC、12日に国際エネルギー機関（IEA）月報が発表されることがイベントリスクになる。前月と同様に世界石油需要見通しの引き下げ、供給過剰見通しの再確認が行われると、売り圧力が強まりやすくなる。11月18日安値66.61ドルを割り込むと、チャート主導の売り圧力も強まりやすくなる。

一方、12月11日には中国で中央経済工作会議が開催される。来年の経済成長目標や景気下支え策などについて、習近平国家主席を含む最高指導部や金融当局幹部などが協議を行うことになる。強めの成長目標設定、景気対策への期待感の高まりといった動きが見られると、非鉄金属相場などとの連動で安値修正が促される可能性はある。

中東では11月27日にイスラエルとレバノンの停戦合意が実現したが、その後もイスラエルとヒズボラの間では散発的な攻撃の応酬が報告されている。最大60日でイスラエル軍はレバノンから撤退する計画だが、イスラエルとヒズボラが互いに合意違反を批判しており、軍事衝突が激化するリスクには注意が必要。シリアの内戦激化、イランの核開発強化の動き、ウクライナ戦争激化などにも注意が必要。逆にイスラエルとハマスの停戦協議が再開された模様であり、停戦合意に向けて大きな進展がみられると調整売りが膨らみやすくなる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



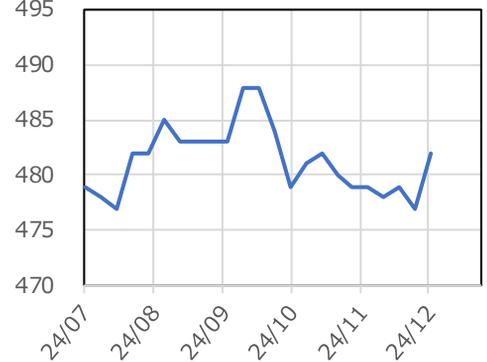
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

